

## 目標 5 助け合い、支え合う健康であたかなまち

「目標5 助け合い、支え合う健康であたかなまち」です。

新組織として保険課を設置します。国民健康保険、後期高齢者医療、そして介護保険を1つの窓口統合するとともに、保健センター、地域包括支援センターとの連携を一層密とし、地域医療、介護予防に一体となって取り組んでまいります。

また、これまでの福祉課福祉・子育てを福祉係と子育て支援係の2つの係

に分け、よりきめ細やかなサービスの提供に努め、本町の強みである、住民と行政の距離が近く、住民の顔が見えるコンパクトな行政規模を生かしたぬくもりのあるまちづくりを進めてまいります。

保育園においては、保育室の有効活用と柔軟な保育士の配置により、人口の増加傾向が続く中でも、待機児童ゼロを堅持してまいります。

また、平成二十七年四月から、社会福祉法人樟椈会による、総合福祉センター北館さざんかの運営を開始します。

民間の持つノウハウやアイデアを活用し、質の高いサービスを利用者の皆様に提供するとともに、青山保育園での土曜保育を新たに実施します。併せて、さざんか福祉コミュニティセンター、さざんか児童館、新築なかし会においても、指定管理者による管理運営を行うてまいります。

また、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金については、支給額を対象者1人、6,000円と3,000円にそれぞれ引き下げた上で、引き続き実施してまいります。

ハード面の整備として、総合福祉センターらしいの木の浴室の給湯設備の改修工事を実施してまいります。

障がい者福祉に関しては、第四次障害者計画と第四期障害福祉計画を策定しました。本計画に基づき、障がい者



福祉サービスを適切に提供し、社会弱者の方が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

また、寄せられた寄付金を財源として、遺児に対して高校入学祝金を支給する制度を創設します。親と死別されたお子さんを対象に、高校入学時の祝い金として、1人2万円を支給してまいります。

## 目標 6 いきいきとした豊かな心を持った人を育むまち

「目標6 いきいきとした豊かな心を持った人を育むまち」です。

お子さんを取り巻く問題として、いじめや不登校があげられ、これらの対応は全国的な課題となっています。私と教育委員会との協議・調整の場である総合教育会議の設置をはじめ、新教育制度の取組を進めてまいります。

また、施設整備の充実に努めてまいります。

新築小学校については、校舎西側に木造平屋造りの多目的室棟を新たに増築いたします。また、豊山中学校体育館の非構造部材耐震化工事のための実施設計や、豊山小学校校体育館の天井や照明器具、ガラス窓等非構造部材の改修工事の耐震対策を進めてまいります。さらに、全小学校において、トイレの改修、洋式化を進めてまいります。

学校給食については、引き続き、安全・安心な給食の提供に努め、ステンレス釜や給食用食器等の更新を行います。また、給食センター建て替え計画策定のための設計コンペを行います。当該コンペ案をもとに、今後の基本設計等につなげてまいります。

社会教育センターについては、図書室のカーペットの張替えを行うほか、ホールのモニター設備の更新を行います。また、豊山スカイプールについては、ロックスライダー滑走面の塗替え、プールサイドのグレーチングの交換を実施してまいります。

